

酪連だより

主な話題

- 1、乳牛相場安値をつける！
- 2、高等登録審査合格牛得点発表！
- 3、最近の牛乳生産と消費の状況！

最近の牛乳生産と消費の状況

(昭和 39 年 4 月～6 月牛乳乳製品調査) 農林省岡山統計調査事務所発表

1. 生乳生産量

昭和 39 年 4 月～6 月の 3 ヶ月間における生乳生産量は 21,777 トンで、前年同期に比べ 1,674 トン増加し、増加率は 108.3%であった。月別では 4 月の前年比が 103.3%で前期（1～3 月）に引続き僅少な増加に留まっているのに比べ 5 月、6 月は 108.2%、114.1%と可成の増加を示している。この増加は前年の 5～6 月分生乳生産量が長雨による泌乳量の低下により減少していたため実質的な増加は、おおむね前期並と思われる。

2. 用途別消費量と県外移出入量

4 月～6 月の県内生乳消費量は 18,040 トンとなっており、前年同期に比べてやや減少し 94.5%であった。消費量を用途別にみると飲用向消費量が 7,649 トンで 128.9%と続き大中に伸びている反面、加工向は 8,806 トンで前年に比較して大量に減少し 76.7%となっている。加工向の減少は飲用の伸びが生乳生産量のそれよりも大きいため、加工に仕向られる量が減少しているためと、県外への移出量が前年に比べ 182.6%と増加していることによるものである。移出量は、前年よりもやや減少し 49.9%で 2,055 トンとなっており、広島が最も多く、次いで香川、島根県の順で移入されている。

① 生乳生産量と県外移出入量

	生乳生産量 (トン)	前年比 (%)	移 入 量 (トン)						移 出 量 (トン)				
			広島	香川	島根	その他 の県	計	前年比	大阪	兵庫	その他 の県	計	前年比
4 月	7,159	103.3	321	279	111	21	732	95.9%	1,028	335	29	1,392	312.8%
5 月	7,604	108.2	397	283	—	—	680	90.1%	1,091	1,106	26	2,223	227.1%
6 月	7,014	114.2	384	253	—	6	643	99.4%	993	1,159	25	2,177	124.5%
計	21,777	108.3	1,102	815	111	27	2,055	94.9%	3,112	2,600	80	5,792	182.6%

② 用途別生乳消費量

		3 9 年 (トン)				前 年 比 (%)			
		飲用向	加工向	その他	計	飲用向	加工向	その他	計
4 月		2,258	3,710	531	6,499	128.7	75.6	90.8	89.7
6 月		2,695	2,847	519	6,061	135.8	66.5	97.4	89.1
5 月		2,696	2,249	535	5,480	122.7	98.2	95.4	108.6
計		7,649	8,806	1,585	18,040	128.9	76.7	94.6	94.5

乳牛相場

最近の乳牛相場は大体次のようですが、本会では、このように比較的安値の時期に購買斡旋を行いたいと計画しておりますので、御希望の方は御相談下さい。

各産地乳牛相場

購 買 地	月 令	ホルスタイン種系	血 統 登 録	高等登録の娘牛
県 内	生後 5~6月 種付前 初妊牛 (中腹)	2.5~4万円 6~8 9~12	4.5~7万円 8~12 12~15	6~10万円 10~18 15~25
北 海 道	生後 5~6月 種付前 初妊牛	3~5.5 4.5~9.5 7.5~13	5~9 6~15 11.5~20	6.5~20 8~27 14.5~35
静 岡	生後 5~6月 種付前 初妊牛	3~4 6~7 10~11	5~6 10~11 13~14	7~8 13~15 17~20
千 葉	生後 5~6月 種付前 初妊牛	3~4 6~7.5 7.5~12.5	4.5~6.5 7~11 13~16	7~10 8.5~13 16~22
兵 庫 上	生後 5~6月 種付前 初妊牛	2~3 6~6.5 8~9	4~5 9~11 13~14	4.5~6 11~13 15~17
兵 庫 路	生後 5~10月 初妊牛	2~4 8~14	3~7 13~17	5~11 17~20

高等登録体格審査合格牛得点表

(過去3年間、県内産に限る)

年型	例数	品種の 特 徴 9(8)	肩、背、 腰 6(5)	尻 7(8)	肢蹄 8(9)	頸、き 甲、肋、 膝、腿 13	皮膚 被毛 7	前肋、 胸 8	肋腹 12	乳 房			乳静脈 5(3)	総得点	下段の数字は 標点、()は 40.4.1から施 行の標点
										質 10(8)	容積、 形状 12(14)	乳頭 3(5)			
2年型	247	76.0	75.3	74.8	74.5	75.1	75.3	74.8	74.9	77.3	75.3	74.3	75.2	75.4	
3年型	292	76.5	75.6	75.1	74.4	76.8	76.8	76.0	76.4	77.7	75.1	74.1	75.7	76.0	
4年型	125	76.6	75.9	75.3	74.2	76.9	76.8	76.3	76.7	77.7	74.9	74.0	75.6	76.0	
成年型	75	76.9	76.0	75.5	73.9	77.2	77.2	76.8	77.1	78.0	75.2	74.3	76.1	76.4	
平均	739	76.4	75.6	75.1	74.3	76.3	76.3	75.7	76.0	77.6	75.1	74.1	75.5	75.8	加重平均

本県産ホルスタイン種牛の外貌上における最大の欠点は肢蹄が弱いことである。又、乳房の形状の悪いもの、容積不十分のもの、乳頭の斉一を欠いているもの、後軀の充実が不十分なものが多い。従って今後、これらの点の改善を図ることが急務である。

近来、急速に改良された点としては乳房の質を筆頭に、乳用牛の特質いわゆる乳牛らしさに優れており、高い飼料の利用性を保持していることである。